

京都歳時記 祇園祭

日本三大祭の一つに数えられる祇園祭は、7月1日から31日まで1ヶ月にわたってさまざまな祭事が行われます。貞観年間（859～877）、都に疫病が流行した時、神泉苑に祇園社（八坂神社）の神輿を送り、その疫病を取り除くために始まったといわれています。2014年より変更された祇園祭山鉾巡行は、前祭（さきまつり）巡行（23基の山鉾）と後祭（あとまつり）巡行（10基の山鉾）にわかれて行われます。

日程	2018年7月1日（日）～31日（火）
場所	京都市内各所
電話	075-213-1717（京都市観光協会）

● 京都市観光協会のホームページでも詳細をご覧ください。

祇園祭	山鉾建て	お迎提灯および神輿洗式	宵山
	石見神楽	山鉾巡行	神幸祭・神輿渡御出発式
	花傘巡行	還幸祭	

祇園祭 主要行事一覧

7月10～14日（前祭）
18～21日（後祭）

山鉾建て（やまほこたて）



各山鉾町

「山鉾巡行」を1週間後にひかえた京都。山や鉾を持つ各町内では、蔵に収めていた山や鉾の部材を出してきて「山建て」「鉾建て」が始まります。鉾のうち巡行時の重量が最大のものは約12トン。これを「建て方」と呼ばれる職人たちが釘を使用せず縄だけで組み立てる「縄結み」の伝統技法を見ることができます。

日程	前祭：2018年7月10日（火）～14日（土） 後祭：2018年7月18日（水）～21日（土）（予定）
料金	無料
場所	各山鉾町
電話	075-213-1717（京都市観光協会）

7月10日

お迎提灯および神輿洗式



四条大橋

「お迎提灯」では、「神輿洗式」の神輿を迎えるために提灯を立てた行列が巡行します。神輿洗式は、鴨川の水を使って神輿を清める神事です。八坂神社から道しるべの大たいまつが出発、続いて3基の神輿のうち紫雲庵等（すさのものをみこと）が乗る中御座神輿1基を「ホイット、ホイット」と掛け声を出しながら担ぎ、四条大橋の上で神輿を神用水で清めます。この水が体に振りがかかると、無病息災で暮らせるといわれています。

日程	2018年7月10日（火） お迎提灯 16：30～21：00 神輿洗式 20：00～
料金	無料
場所	お迎提灯：八坂神社→河原町四条→寺町 通→東大路通→神幸道→八坂神社 神輿洗式：四条大橋
電話	075-561-6155（八坂神社）

7月14～16日（前祭）
21～23日（後祭）

宵山



各山鉾町

14日から山鉾巡行の前日の16日までが傍祭の宵山です。山鉾を飾り、提灯の明かりが宵山に浮かぶ街並みの中、祇園囃子が奏るのムードをいっそう盛り上げます。各山鉾町では「願懸」や「見送」などの山や鉾の懸装品を飾り、厄除けのお守りである簾（ちまき）や護符が完られます。21日～23日には後祭宵山が行われます。

日程	前祭：2018年7月14日（土）～16日（月） 後祭：2018年7月21日（土）～23日（月）
料金	無料
場所	各山鉾町
電話	075-213-1717（京都市観光協会）

7月16日

石見神楽 (いわみかぐら)



八坂神社

宵山の当日、八坂神社の能舞台で奉納される石見神楽は、国の無形文化財に指定されています。八坂神社の祭神・素戔嗚尊（すさのをのみこと）の八岐大蛇（やまたのおろち）退治の神話にちなんだ舞などが披露されます。笛・太鼓・箏のにぎやかな囃子に合わせて、奇抜な神楽面を着け、豪華な衣装をまとった舞い踊る姿はダイナミックで、一見の価値があります。

日程	2018年7月16日（月・祝）18：30～
料金	無料
場所	八坂神社 （京都市東山区祇園町北側625）
電話	075-561-6155（八坂神社）

7月17日(祝祭)
24日(祭日)

山鉾巡行



市内中心部

前祭は17日午前9時に祇園囃子を奏でながら、長刀鉾を先頭に23基の山鉾が巡行します。四条烏丸から四条河原町の交差点へ。山鉾は四条通から河原町通に進み、ここで直角に曲がるための勇壮な「辻廻し」が行われます。辻廻しは河原町御池、新町御池の各交差点でも見ることができます。また、後祭は24日午前9時半、烏丸御池を出発し、東に向かって10基の山鉾が巡行します。各山鉾の豪華な露装品も見どころです。

日程	前祭：2018年7月17日（火）9：00～ 後祭：2018年7月24日（火）9：30～
料金	無料 有料観覧席（一般席）3,180円 【前祭】 御池通の寺町通から新町通の間 【後祭】 御池通の河原町通と寺町通の間
場所	市内中心部
電話	075-213-1717（京都市観光協会）

7月17日

神幸祭・神輿渡御出発式



八坂神社

夕方、八坂神社本殿で神事が行われた後、中御座、東御座、西御座の3基の神輿が舞殿より降ろされて舞殿を3周してから、それぞれ所定の氏子地域を巡ります。神輿が祇園石段下で「差し上げ」をしてから出発する様子は迫力満点。山鉾巡行とはまた違った「祇園祭」を見ることができます。

日程	2018年7月17日（火）18：00～
料金	無料
場所	八坂神社（京都市東山区祇園町北側625）と各氏子地域
電話	075-561-6155（八坂神社）

7月24日

花傘巡行



八坂神社

24日夜の遷幸祭に先立ち、花傘巡行が行われます。芸能色が濃く、山鉾巡行などとはまた違った趣で祇園祭を楽しむことができます。八坂神社を出発した傘鉾や祇園太鼓に祇園囃子、獅子舞、意太夫などの巡行列が市内を巡行し、見る人を楽しませてくれます。

日程	2018年7月24日（火）10：00～
料金	無料
場所	石段下→市役所前→八坂神社
電話	075-561-6155（八坂神社）

7月24日

遷幸祭



八坂神社御旅所→八坂神社又旅社→八坂神社

17時ごろに、3基の神輿が四条寺町にある八坂神社御旅所を出発します。この御旅所に神幸祭から1週間前安さされていた御神霊を再び神輿に遷し、八坂神社又旅社で祭典を執り行います。その後、神輿は御神霊を乗せて市内を巡り、歓声と熱気に包まれながら再び八坂神社に戻ります。

日程	2018年7月24日（火）17：00～
料金	無料
場所	八坂神社御旅所（京都市下京区四条通寺町東入南側）→八坂神社又旅社（京都市中京区御供町）→八坂神社
電話	075-561-6155（八坂神社）